〔一〕　第三千五千七七號　〔木曜日〕　磐城新聞　昭和六年二月十九日　〔第三種郵便物認可〕

超高速度の小說漫畫　六

赤井嶺男輯錄

本宿街道

行友李風

作者の言葉——

横濱の田中平八といふよりも、單に天下の糸平の名で通用します、程日本に於ける生絲製茶貿易の始祖とも稱すべき、明治初年にける實業界の一枚看板であることは申すまでもありません、併しこうした偉人のてゐるんだな』

傳記を、立志、成功の方面にばかり索めないで、或る一面における普通人としての『信州の平八さん』の面影を偲んで見たいと、此描い作品に筆を附けました渠の生涯を畫劃して『放漫時代』『成功時代』『金盛時代』と三分し、ここにはその放浪時代における曲折縱横波瀾重疊の日常を描きます、恰もしさを覺えます。幕末、維新直前の形勢がこの風雲兒の運命を如何に試練し如何に繼弁しますか、怪奇な場面は霧深き信州番場峠の坂道を舞台とし、虚無僧の吹き入る尺八の音色きに連れて幕が開きます。

（その一幕）

……冬の半に山里を見渡せば梢は霜か雪の花、冬至ひのまの梅の色盛り……。

この山里には珍らしい、長唄の『花ぐるま』の舞から彈き出して、透きとほる優しい唄の節、併も今宵耳を傾ける。

……十九日〔木曜〕……

仙臺　JOHK

△前七、〇〇　七、三〇B　ラヂオ體操

△九、〇〇A　氣象通報

△九、〇五　經濟市況

△九、一〇　ローカル　料理　獻立（燒蝦卷）東京女子職業學校發表　日用品値段

△九、三〇　一〇、二〇A　經濟市況

△一〇、三〇　一一、〇〇A　家庭講座（二月の花と盆景）『二』小島泰次郎

△一一、四〇A　經濟市況

△正午　時報

△後〇、〇五　〇、四〇A　和洋合奏　一、長唄『越後獅子』二、長唄『今樣望月』

△〇、四〇A　全國ニュース　氣象通報　告知事項

△一、〇〇　一、五〇A　經濟市況

△二、〇〇A　家庭

大學講座（日本演劇史第五講）歌舞伎劇　早大講師河竹繁俊

△二、三〇　經濟市況

△三、四〇　氣象通報（積雪量）

△三、五〇　經濟市況

△四、〇〇A　全國ニュース

△七、〇〇　全國ニュース（官廳ニュースを含む）　ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項

△七、二五　七、五五A　講演　國寶の話（國寶の保存に就て）『其の一』文部

△八、〇〇　八、三〇　宗教管長

△九、〇〇　一〇、二〇A　經濟市況

△一〇、三〇　一一、〇〇A　家庭講座（二月の花と盆景）『二』小島泰次郎

△一一、四〇A　經濟市況

△正午　時報

△後〇、〇五　〇、四〇A　和洋合奏　一、長唄『越後獅子』二、長唄『今樣望月』

△〇、四〇A　全國ニュース　氣象通報　告知事項

△一、〇〇　一、五〇A　經濟市況

△二、〇〇A　家庭講座（中等科第二講の五）　英語

△六、三〇　七、〇〇B　河邊滿甕

△七、〇〇　全國ニュース（官廳ニュースを含む）　ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項

△七、二五　七、五五A　講演　國寶の話（國寶の保存に就て）『其の一』文部

△八、〇〇　八、三〇　宗教管長

△九、〇〇A　氣象通報

△九、〇五　經濟市況

△九、一〇　ローカル　料理　獻立（燒蝦卷）東京女子職業學校發表　日用品値段

△九、三〇　一〇、二〇A　經濟市況

△一〇、三〇　一一、〇〇A　家庭講座（二月の花と盆景）『二』小島泰次郎

△一一、四〇A　經濟市況

△正午　時報

△後〇、〇五　〇、四〇A　和洋合奏　一、長唄『越後獅子』二、長唄『今樣望月』

△〇、四〇A　全國ニュース　氣象通報　告知事項

△一、〇〇　一、五〇A　經濟市況

△二、〇〇A　家庭講座（中等科第二講の五）　英語

△六、三〇　七、〇〇B　河邊滿甕

△七、〇〇　全國ニュース（官廳ニュースを含む）　ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項

△七、二五　七、五五A　講演　國寶の話（國寶の保存に就て）『其の一』文部

△八、〇〇　八、三〇　宗教管長

△九、〇〇A　氣象通報

△九、〇五　經濟市況

△九、一〇　ローカル　料理　獻立（燒蝦卷）東京女子職業學校發表　日用品値段

△九、三〇　一〇、二〇A　經濟

『妻戸叩かば誰ぞとは言はで、あけて霜夜の睦言……何だか俺に聞かせるやうなあ、自惚ちやあ不可ねえ、俺は今夜は、餘つ程何うかしてゐるらしい』

自分で自分を嘲りながらも、妙に一種の、胸苦しい氣持になります。

後は、しばらく、合の手で巧な擦音のみが續く。

時に、こそり……襖越に微な物音、人の氣配。

『おやつ』

初めは女中か、家の者か、室部屋になつた座敷で、人目を忍ぶ内證のうたた寢か——位に深くは氣にも止めませんでしたが。

二度となり、三度と重なるにつれて、稍氣に懸り。

『えへん、ノ〳〵』

試みに空咳をして見たが別段それに應じるらしい樣子もない。

『何だ、猫か』

口にうまいといふ酒ではないが、呑み足りなさに又、盃を取りあげる。

下では、唄が、槍踊りの條へ進んで。

……振込め〳〵初雪の、中に美事な花の槍、振の袂に纏風が、よれつもつれつ〳〵と……。

『叱つ、ヌツに靜かに願ひたい少々仔細ある身の上』

どうやら言葉の工合では行つたよ。

空部屋から侍が飛び出した、平八も一寸意外です。

——（今月今日）——

△兵部省を廢して陸海軍二省を置く（明治五）△雪舟歿す、年八十七畫聖也

備中赤濱の人、入明して書を學ぶ、師となすに足るものなし、天來の妙手著一ト通りなりません、或

『妻戸叩かば誰ぞとは言はで、あけて霜夜の睦言……何だか俺に聞かせるやうなあ、自惚ちやあ不可ねえ、俺は今夜は、餘つ程何うかしてゐるらしい』

自分で自分を嘲りながらも、妙に一種の、胸苦しい氣持になります。

後は、しばらく、合の手で巧な擦音のみが續く。

時に、こそり……襖越に微な物音、人の氣配。

『おやつ』

初めは女中か、家の者か、室部屋になつた座敷で、人目を忍ぶ内證のうたた寢か——位に深くは氣にも止めませんでしたが。

二度となり、三度と重なるにつれて、稍氣に懸り。

『えへん、ノ〳〵』

試みに空咳をして見たが別段それに應じるらしい樣子待らしい。

空部屋から侍が飛び出した、平八も一寸意外です。

——（今月今日）——

△兵部省を廢して陸海軍二省を置く（明治五）△雪舟歿す、年八十七畫聖也

備中赤濱の人、入明して書を學ぶ、師となすに足るものなし、天來の妙手著一ト通りなりません、或

拈華微笑

水道は俺迄明瞭

澁微なれ町民に澁りを飲ませてはならぬ

◇

人事問題等に就て各町議は須く

◇

沈澱池濾過池たる事を要す

◇

福引丈けで萬引の無かつた今年の賞り初めは上出來上出來

◇

女性らしいべにねする間がなくツて……』

は手前今日出ましたのは或が、名が分らなの研究家黒田女博士の視察延期

人出が同じで賞日のこと二人の花の先生になり、歌舞音樂何一ツお

り上が半減。これこそ勘定合つて錢足らずだ

に掛るが、扨てどうもお

ところからのお話で御縁談

の橋渡しなのでございます

が、如何なもので姉樣の方

居たところです藥櫻になる

ことでございまして、障子を明け拂ふと廣い庭ではないが、植木の手入れを充分

雪道

（童謠詩）

里雄

△つもつた　つもつたよ　お日さまの出た雪道。

自動車が　泥は　かして　行つたよ。

柴しよつて來た　俺の　もんぺにはねて汚したぞ

元祿名妓傳

小邑井小邑演

（宮野恒彥畫）

第一席

講談

まツ白に、まツ四角なり

まツ白に、まツ四角なり

古今に絶す（永正三）△屋島の戰、義經死地に入つての弓拾ひ、那須與市の扇の的、佐藤嗣信の忠死など源平時代の薫りゆかしき武士道の譽を傳へたも此の戰である（文治元）

△初鰹の人目恥かしい作品に筆を附けました渠の花紅葉、忍ぶの山の下紅葉

三間間口の土藏つくり、小西屋五左衛門といふ藥種問屋諸家樣へ出入りの可なり

お喜知と云ふ二人の娘を持ち、姉は十九歳末は十六歳何れも稀なる美人で、界隈の者は二人小町と持てはやし、若い者が二三人寄れば必ず此の二人小町の噂が出ると云ふ、六左衛門夫婦はこの二人を梅櫻と眺めて愛するものなし、天來の妙手著一ト通りなりません、或

神戸牛そこのけの優秀清新の……

牛肉大値下

ヒレ　百匁　九七〇〇

ロース　同　七四〇〇

上肉　同　四二〇

並肉　同　三

お用命次第いか程にても早速お屆け致します

電氣すき燒器を取付けました

スキヤキひとねじりで直ぐグツ〳〵と煮上ります。正に超スピードです……

味は？これ自慢ながら百パーセントです

お家族樣御同伴を歡迎いたします

平町田町

牛豚鳥料理　石川亭　電四三

景品附大廉賣

舊正月二日三日兩日間……！

特に先着十五名に限り靴一足づつ進呈致します

靴鞄小學生ランドセル

大破格を以て御用を御勉めいたします。

田町大通り

福山靴鞄店

夜間診療

三浦醫院

内科　十二指腸虫病　專門

内科部　外科部　泌尿器科　性病　花柳病　專門

（平南町電話一〇七番）

森下の年始大賣出

販賣商品ハ絶對優良安價品！

特ニ學生カバン類ハ製造元ヨリ直接入量ニ仕入シ爲メ市價ヨリ約三割安ニ御願ヒ申上ゲラレマス。

一男女學生カバン　特等品　金廿五錢ヨリ
一男女學生用手提　特等品　金五十錢ヨリ
一牛皮製ランドセル　特等品　金貳圓廿錢ヨリ
一カテイカメラ　一揃　金五十錢ヨリ
一太毛糸一オンス　金十一錢ヨリ
一其他何品ニヨラズ此際利益度外ノ大格安賣

◎吉例ニヨリ大賣品差上いたします

平町一丁目

森下商店

◎レコード破りの石炭大廉賣!!!

（磐城炭礦二等炭）

正味十貫目一俵　金卅錢也

◎品ガ良々『値ハ安ク』ヲモツトースル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス

◎値ガ安クトセ品ハ惡クハアリマセン

◎磐城炭礦ノ處分的大堀出物デス品物ノ、ナクナライ中ニ御注文下サイ

◎配達ハ一俵ヨリ致シマス

御注文ハ——

——電話二三七番

平驛前　阿部石炭商店

外科

內臟外科　醫學士　松永憲一

整形外科

外科一般

平新川町十九

木村病院

◇產婦人科院長從前通り診療

例年通り大賣出し

吉田呉服店

平素の御引立に報ゆるため格安品を豊富に取揃へ、御來仕大提供！

舊正月二日、三日、四日の三日間

ふかや洋服店

夕刊　二月十八日發行

人の出盛る大通り附近は 車馬交通止めの混雜
不況の折柄之れのみは例外の賑ひ 斷然想像を裏切つたけふの初賣り

ハチ切れそうな滿幅の商賣戰術を秘めて舊元日の未だ宵のうちに早くも大戸をおろした平町の各商店では深更十一時頃から上は旦那代理の白鼠から下は白雲あたまの小店員迄すつかり起き出て夫々の部署に着いた。

今曉午前零時凍てつく寒天をものともせず早い事によつて優等の景品にありつかんとする所謂買ひそめファンがドン〳〵と大戸を叩く中からは襷十字にあやどつた赤鉢卷の威勢良いかつこうをした店員がソレとばかり飛び出して來て縁起の良い一番がけの客を請じ入れる店內には畳をあざむく高燭の電光輝き戸外は寒天に冴ゆる木履の音高く降らず吹かず紛ふ方なきイヤ申し分のない賣り初め氣分にどの店の店員も胸をワク〳〵させ乍ら咽喉元まで込み上げてゐる『入らつしやい』を嚙み殺して客を待つたが景品を當て込んだ小口の客が一としきり立て込んだあとは客足が妙に杜絶ち勝ちで而もとうに出て來ねばならぬ筈の在方が見えず一としきり氣を揉んだが漸く東の天が白んで六時、七時となりけたたましい鈴の音にメガホンの呼び聲に此頃から漸く街は一としほ賑ひ出して九時頃となるや町の人に在方の買ひ出しが加はつて早曉の寒さに出足を挫かれてゐた人の群は潮の如く殺到して街を埋め十時！十一時頃にはまさに買ひ初め氣分の最頂點に達し大通りの四つ角あたりはまさに車馬通行止めの大混雜を呈した程である

嚴重な監視に 掏摸萬引も姿を消す
不況も手傳つたかして 例年に無い現象

前記の人出を見越した平署では當日早曉から殆んど署員總動員のかたちで樫村署長以下が出動し多數の私服警官を各商店に張り込ませて萬引の監視に當らしむる一方芋の子を洗ふ如き混雜裡に密行せしめ掏摸その他の檢索に努めたが曾て數年前には一擧にして十數件の萬引を檢擧した事あつたに反し本日は午前中某々一二の商店に於いてそれらしきものを發見追つ拂つた外取立てて云ふ程の事故も無かつた

物價下落の結果 例年の半分位平
人出はさほど減らぬが！ けふの賣上概算

平町に於ける今年の賣り初めは之れを要するに人出の數が例年より幾分少かつた位で町內の混雜その他外形的景氣に於いては大体例年と大差なきものの様であつたが肝腎の物價が中には前年の半分位に下落してゐるのもあり人出の若干減少と相俟つてその賣り上げに至つては前年の約半分位ではないかと觀測してる向が多い

迷ひ子一件
その筋に搜索願

豊間村沼之內農永山末松は二女ツネ(四)を連れ今十八日平町の買ひ初めに來たが一丁目飯田書店前で買物中折柄の混雜にまぎれ迷ひ子になつたので平署に搜索方を願ひ出た

村財政の建て直しに 減給と農會廢止
揉みに揉む遠野村 成り行きを刮目さる

上遠野村では先年來村財政行き詰りの結果差しかゝる吏員教員等の給與手當支給その他一般經理上些も動きがとれず當面の打開策として己むなく

一、村農會を廢止する事
一、役場吏員の俸給を三十圓打切りとすること
一、月俸四十圓の教員に對しては其一割乃至二割を寄附せしむること

を立案し村會に附議したが贊否相半ばして左右の決定を見るに至らず議を練ること前後七回揉みに揉んで今日に至つたが村財政が疲弊の極に達してゐる同村としては差し當り之れ以外に到底拾收の見込が立たないと云ふので近く村會を招集し何とか決定迄漕ぎ着けたい希望であると云ふが問題の性質が直に關係者の財政內容に影響することなので再た復た相當波瀾曲折を豫想され而もその向背は旋て同樣の事情に在る他の町村にも波及するの動機たる場合無きを保し難く一般その成り行きを刮目してゐる

衛生事務打合

縣衛生會主任事務打合せ會は左の日割で郡內各地に於いて開かれる
▲五日四倉▲六日平▲七日植田

黒田博士 視察延期

本邦に於ける『べに』研究の權威として將又女博士として有名なる文部省視學委員理學博士黒田ちか女史（東京女子高等師範學校教授）は十六日白河高女を振り出しに磐城女學校も視察の豫定だつたが都合により延期された

水道技師後任決定
工手校出身 蛯島定吉技手

此程辭職した平町上水道擴張部技術部長柴山爲吉技師の後任として技手蛯島定吉氏が採用され直に就任する事となつたが同氏は工手學校出身の熟練家で技術部長は當分山下課長が兼務する筈であると、尙ほ最近の水道部內は山下課長を中心として人事行政上左右の風評あり今後の統制に關し一部有識者をして憂慮せしめてゐる

內郷村民に冷やかな 縣當局の態度
簡易水道問題で 双方のソリが合はぬ

內郷村に於ては將來の人口一萬增加を豫想し總工費六萬圓內縣補助三萬圓を以つて簡易水道施設を計劃し來る二十日開催の村會に附議する旨既報の如くであるが縣當局では時節柄補助三萬圓の交附は勿論全々右施設を認可せぬらしい形勢にあるので同村關係民は極度に憤慨しその不當を鳴らして居るがこれに就いて同村某村議は語る

近來當方部の井水、河水共一層惡質となつた爲め玆に表面化するに至つたが實は十數年來の懸案であり六年度事業として實行する時は現在諸物價の低廉から所要砂利、セメント、鐵管類も格安に購入され勢ひ經濟的に施設される譯だから是非六年度事業として遂行したい希望である

金儲け內しよ話 ―(7)―
死人のおやけだものの毛は交らぬ 襃から覗いたかもじ屋さん 上

髮結ひの儲けと洋食店の儲けをご紹介した。そこでこの髮結ひと洋食店とに密接な關係をもつ『かもじ』の儲け話を引つ張り出そう。

◇

『かもじ』と髮結との關係は、誰しもがこれを知つてゐる、だが『かもじ』と洋食店とは何の關係があるか？まアそう急くまいぞ話は順を追はなけりやわかない。あの洋食店を儲けさすところの牛だネ、あの牛と『かもじ』とは切つても切れぬ因縁があるのだ。

◇

日本髮に用ひる根かもじ中島田用は一圓五十錢、丸髷用は七十錢から二圓――びんみの、たぶみの、前髮みの等は五十錢から二圓迄、束髮用は一圓――以上は人毛を材料としたもので、所謂しやぐまの奴はその二倍のお値段だ。これを忘れて貰つちや困る。隨分骨を折つて筆者は調査したんであるから、そのご苦勞を買つて貰ひたい。

◇

さて、商品となつた『かもじ』の相場がこれでお判りになりましたネ、そこでその原料の調査である。

◇

かもじ屋さんは手が賴り『私どものかもじには一本だつて死人の毛や、けだものの毛はまじつて居りません』と云ふご自慢を、信用したいと思ふものは信用してもよろしい。だがその材料は『これは死人の髮ですか、これは生き人の拔け毛ですか』とて買ひためて歩くわけではない。生死無差別一切是空、人體からお暇申した髮の毛のこんがらがりをボロ屋で買ひ取つて、それを製造元に送るだけの話しだ。

◇

かもじの原料は、戰爭當時暴騰に暴騰、人毛一貫匁が八十圓もした、そこで大きな髮結さんになると、お客さまの拔け毛で、甘い！『お魚で先づ一杯』をやつてもまだ〳〵儲けがたんまりあり、一ケ年何百圓といふ商賣外の收入があつたものだが、戰後秋風拔毛を吹いて相場がガラ落ち廿圓臺と來た。今では、一貫目只の三十錢から八十錢といふ哀れな有様――。だがですかもじの小賣値段は一定不動の釘づけで、今も昔も變りなしとある。

水道人夫が 待遇改善歎願
代表者から町長へ

平町勞働登錄者から採用された上水道擴張工事人夫丸山春藏、菅原隆、高野今朝藏、米倉判次外八十餘名は勞銀値上げその他待遇改善に關する數項を提げ昨十七日役場に出頭伏見町長宛左記決議及歎願書を提出した

決議文

一、吾が平町當局は現下に於ける失業者救濟の趣旨を以て起工したる水道擴張工事に關し幾多趣旨に逆るものあるを以て吾々は町當局に對し別紙歎願書を提出し初志の貫徹を期す、右決議す

歎願書

一、水道擴張工事從業員の日給を一圓に値上されたし
一、歩增し制度を廢し勞働登錄者は交代なく使用されたし
一、第一工區に於ける飯場制度を即時徹廢されたし
一、從業員の往復にトラックを使用され度し
一、貝番には從業員を以て交代に使用されたし
一、棒頭並に之に類するものを徹廢され度し、
一、現場監督の不公平なる態度を改められたし
一、現場監督に當る町會議員の特別手當日給二圓以外は即時廢されたし
一、砂利は一寸二分迄使用され度し

右之條項御採用相成度此段及歎願候也

投檜 寄書歡迎

芥捨て御た度

◇河川改修工事の爲に一時命脈を危ぶまれた新川端の櫻が一部同愛の士のお骨折りで命乞ひが出來た事は新川端の櫻を自慢の一つに入れて居る平つ子の一人として誠に欣ばしい事である

◇斯くなるからには町民たるもの須らく協力一致以てその美觀の保持より更に一歩を進めて之れが向上を謝せねばならぬと云ふ事に就ては何人も御異存はあるまい

◇そこで御相談ですがどうでせう町なり警察なりの力によつて附近居住者の塵なげを充分取締つて貰はふではありませんか、遠く大通り方面から迄リヤカーを引つ張つてきて投げ込むなどは隨分人を喰つた遣り方だど憤慨に堪えざるものがあります（材木町耽美青年）

小學生と唱歌

◇余は地方の小學校を通觀して、唱歌科がすこぶる誤解せられ、不徹底な音樂教育をせられつゝあるを痛切に遺憾とする、唱歌科擔任の先生は、唱歌科を如何に解釋してゐるであらうか

◇小學兒童は三大祝日唱歌の歌調中に含まれてある國民として大切な意味內容を、よくわきまへてゐるであらうか

◇『君が代』は日本の國歌である位の表面的な事は知つて居るか、少し奧深く踏み込んだ內容と、その意義とはほとんど兒童に徹底しないやうだ

◇三大祝日の唱歌をあたかも『論語讀みの論語知らず』と同樣に流ちやうに、そして上手に歌ふことが出來ればよいといふことでは國民教育のためまことに心細いことである

◇この欠陷は兒童の罪だけではない、學校教育者中音樂教育を擔任する先生の自覺が大切である。唱歌科の先生はたゞ兒童へ歌曲をかなで教へるだけが、唱歌科の眼目であると誤解して居るやうである。唱歌教授の現在の事實がそれを證明してゐる

◇さうした唄ふのみの音樂教育なら家庭においても充分出來る。ラジオあり、蓄音機あり、何時にても必要に應じていはゆる音樂教育は出來る筈である、しかるに家庭內の音樂教育を、學校に委任してあるのは、そこに重大な意義があると思ふ

◇小學校における音樂教育がまだ 徹底して居らぬ。音樂教育が盛んになるにつれ、やゝもすれば學校における兒童の唱歌科の意義の重要な部分が、ます〳〵閑却されようとしてゐるとは遺憾である、（石城郡○○村學務委員S生）

浮浪の大工
暴れて檢束さる

當時住所不定無職信夫郡飯坂町大字戸綱町生れ大工職田中義衛(三)は昨十七日午後八時頃平町新川町大內人力車店に泥醉亂入暴行を働いてゐるのを平署員が發見逐行目下取調中

平町人事

△出生 紺屋町四一緒形朝藏四男正 新川町一七鐵道員久保田英三二女ミサ子 舊城趾一一宮城縣亘理郡逢隈村高屋一四伊達正志長男昭夫

△婚姻 古鍜冶町八七銀行員端山輝(三三) 福島市河原一〇村上リナ(二三)

▲死亡 南町四一古川アサ(一) 杉平二〇栃木縣姿川村鶴田二五五四海野安治(二三) 立町七〇栃木縣宇都宮日鴫町四三齋藤八百藏(六〇)

赤井颪

◇日本の手踊りの畑から新舞踊に手をつけて成功したのは藤間靜枝さんだらう、其表現法が在來の踊りの長所にダンスの線のリズムを織り込んでなだらかに調和洗練された點にあるようだ◇○さんが靜枝さんの直弟子となつて歸つてから劃期的に平藝者の踊りが改まるだらうと期待されたのが、新田町の藝者を○さん一人に占められると云ふ古い連中の岡焼きから裏切られたのは惜しい◇ナニ○さんのかつこうがアレなんで出た噂だと、莫迦らしいネ。○……○

明日の吉凶
舊暦一月三日 新暦二月十九日

▲一白の人 人事に勞して功果の擧からざる日緣談尤も凶▲二黑の人 他言に迷はされず一路常業に直進すべき日▲三碧の人 意の如くならざる日金談契約殊に凶なる日▲四緑の人 熱心込めし事も中途に故障の生ずる注意日▲五黄の人 平和に見へても運氣は常よりも進まざる日▲六白の人 誠意の限りを盡せば何事も通達すべき吉日▲七赤の人 小故はありと雖も本業は順調に行くべき日▲八白の人 平凡の中に自然の幸福の伏在する吉日なり▲九紫の人 何事もすすんで吉新規企業は尤も可なるの日

廣告

痔の最高內服藥 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角 山野邊藥局

婦人子供洋服科新設
本校は時代に鑑み婦人子供洋服科を新設し左記要項により親切に教授、たします。
◎入學資格及び入學期（年齢十四才以上の女子は經驗の有無を問はず毎月入學を許す）
◎卒業及び月謝（普通科 三ヶ月卒業 月謝三圓 高等科 三ヶ月卒業 月謝三圓 研究科 六ヶ月卒業 月謝二圓）
◎在學中の材料（普通科高等科在學中材料は自辨なれども研究科に入學後の材料は學校より提供致します）
◎卒業後の就職（研究科卒業の上は學校より材料一切を供給し技術の程度に依り賃金を支給致します）
ミシンを持たぬ方はミシン使用料を頂きます
石城郡平町 平陽女學校

國産セイコー腕時計 抽籤附特賣！
クローム側腕時計八圓半ヨリ 金側全十七圓半ヨリ
特賣の景品
一等 16形プラチナ側時計 市價 百十圓
二等 16形十八金側時計 同 六十二圓
三等 ○S製扇風機 同 二十六圓
四等 ○S月光裏鈴目覺 同 五圓
五等 ○S硝子置足付 同 二圓
特賣期間 六年五月廿一日迄
其の他貴金屬、時計新値下品澤山 修繕値下 勉強を生命と致します
鐵道省御用 金光堂時計店 平五 電話一九五
隣に貸し家あり

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
関內藥局 電話四〇番

急告
撞球臺（附屬品付）安價に賣りたし
……委細面談……
平町白銀町 高木喬

特賣!!!
福島縣清酒品評會一等受領 たひら正宗
同優等賞受領 花春
醬油釀元造 （電話一〇番）
鹽屋 山崎合名會社